Creative Enzymes®

大腸菌由来タウリンジオキシゲナーゼ、組換え品

Cat. No. NATE-1648

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	タウリンジオキシゲナーゼ（TauD）は、Fe(II)およびα-ケトグルタル酸依存性のジオキシゲナーゼであり、E.coliがタウリンを硫黄源として利用できるようにします。E.coliからの酵素のオリゴマー状態は、二量体および四量体として報告されています。これは、Fe(II)/α-KG依存性酵素のファミリーのほとんどのメンバーに存在する2-His、1-カルボキシレートの□三重項を含んでいます。TauDは、アミノ酸タウリン（2-アミノエタン-1-スルホン酸）を亜硫酸塩およびアミノアセトアルデヒドに□換する触媒作用を持っています。
別名	TauD; 2-アミノエタンスルホン酸ジオキシゲナーゼ; 硫酸塩飢餓誘導タンパク質3; SSI3; α-ケトグルタル酸依存性タウリンジオキシゲナーゼ

製品情報

由来	E. coli
形態	液体
製剤化	20 mM Tris-HClバッファー（pH 8.0）に100 mM NaCl、1 mM DTT、2 mM EDTA、40%グリセロールを含む0.5 mg/ml。
EC番号	EC 1.14.11.17
分子量	34.3 kDa, His tagged
純度	> SDS-PAGEによる90%
活性	>170 mU/mg
濃度	2 mg/ml
単位定義	1ユニットは、30°CでpH 6.9の条件下で1μmoleのタウリンを硫酸塩に□換する酵素の量です。

保管・発送情報

保存方法	アリコートし、-20°Cで保存してください。繰り返しの凍結-解凍サイクルを避けてください。